

2021年度 前学期
富山大学オープン・クラス

受講生
募集



2021 年度前学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス 高岡キャンパス		杉谷キャンパス
	クォーター制*	セメスター制*	セメスター制*
授 業	4月12日(月)～6月3日(木) 6月11日(金)～8月2日(月) *一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。	4月12日(月)～8月2日(月) *一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。	
補 講	6月4日(金)～6月10日(木) 8月3日(火)～8月10日(火)	8月3日(火)～8月10日(火)	8月3日(火)～8月10日(火) 8月31日(火)～9月30日(木)
	*科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。		
注 意	*7月19日(月)は木曜日の授業をします。		

※ セメスター制 2学期制（前期・後期とし、各期終了後、補講、試験を行う。）

※ クォーター制 4学期制（期間を4つに分け、各期間の間に授業・補講、試験を行う。）

授 業 時 間

時限	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	夜1限 (6限)	夜2限 (7限)
時間	8 : 45 ∩ 10 : 15	10 : 30 ∩ 12 : 00	13 : 00 ∩ 14 : 30	14 : 45 ∩ 16 : 15	16 : 30 ∩ 18 : 00	18 : 10 ∩ 19 : 40	19 : 50 ∩ 21 : 20

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、大学院、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をさらに深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生^(注1)として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

※なお、新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、インターネットを活用した非対面型授業（遠隔授業）に変更する場合があります。予めご了承ください。

(注1)「オープン・クラス」の受講生には単位認定を行いませんので、あらかじめご了承ください。

富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

目 次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

I 実施形態	4
II 受講手続	5
III 受講に際して	6
IV 非対面型授業（遠隔授業）の受講について	7
V その他	8
オープン・クラス授業科目一覧	
○教養教育（五福）	9
○専門科目	
・人文学部	10
・人間発達科学部	12
・経済学部	14
・理学部	15
・工学部	17
・都市デザイン学部	20
・国際機構	22
○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））	
・人間発達科学研究科	23
・経済学研究科	24
・理工学教育部（理学領域）	25
・理工学教育部（工学領域）	26

高岡キャンパス

I 実施形態	30
II 受講手続	31
III 受講に際して	32
IV 非対面型授業（遠隔授業）の受講について	33
V その他	34
オープン・クラス授業科目一覧	
○専門科目	
・芸術文化学部	35
○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））	
・芸術文化学研究科	37

受講希望調書	39
--------	----

五福キャンパス



<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学 研究振興部 社会貢献課

〒930-8555 富山市五福 3190

TEL 076-445-6956 FAX 076-445-6033

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

I 実施形態

(公開授業科目)

- 1 公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」(P 9～P27 参照)に記載のとおりです。
オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

- A 入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次生対象の授業)
- B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次生対象の授業)
- C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次生対象の授業)
- D 高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの(大学院生対象(ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC))*の授業)

授業内容の紹介(シラバス)は、本学ホームページの「Webシラバス(授業案内)」(<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>)に掲載されておりますのでご覧ください(トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください)。五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院(修士又は博士前期課程)の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい(あるいは「学び直し」したい)とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部等の教養教育や専門科目との違いはありません。

(募集定員)

- 2 募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。
「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や、学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。
また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン・クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

(開講期間)

- 3 **令和3年4月12日(月)～令和3年8月2日(月)**
(一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。
授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「令和3年度前学期授業日程」でご確認ください。

(試聴授業)

- 4 試聴期間中の授業は試聴授業として扱います。

(修了証書)

- 5 オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の2/3以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

(県民カレッジの単位認定)

- 6 オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の2/3以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（1時間を1単位とし、5単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

II 受講手続

(受講希望調書受付期間)

- 1 **令和3年3月1日(月)～令和3年3月12日(金)**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

(受講希望調書の提出)

- 2 本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記五福キャンパス受講生窓口を持参、あるいはFAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。持参・FAX・Eメールともに、受付期間最終日必着とします。

ただし、Eメールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学 研究振興部 社会貢献課

〒930-8555 富山市五福 3190

TEL 076 - 445 - 6956 FAX 076 - 445 - 6033

Eメール lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

- 3 「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試験時に付けていただきますので、紛失されないようご注意ください。

(受講の試験期間)

- 4 **令和3年4月12日(月)～令和3年4月23日(金)**

受講生が授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試験期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試験期間中に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

(受講科目の登録)

- 5 受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、試験期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要な書類等は次のとおりです。

- ・受講届
- ・受講料
- ・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試験期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

(受講料の納付等)

- 6 受講登録時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

1 授業科目 9,400 円 (税込) (大学院 (HGOC) も受講料は同額です。)

(一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。)また、富山県内の高等教育機関に在籍している学生は、受講料が半額になります。

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となりますのでシラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

(受講証の交付)

- 7 受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いいたします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は1枚のみの発行となります。

Ⅲ 受講に際して

(受講生の義務)

- 1 受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

(受講の停止)

- 2 受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

(休・補講、教室変更について)

- 3 これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ(裏表紙の裏)を参照ください。

(受講生の呼び出し等)

- 4 授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。

(図書館の利用)

5 附属図書館は2020年3月から新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応として、一般の方（オープン・クラス生を含む）の入館を制限していましたが、2020年8月から事前申し込みによる図書の貸出、文献複写物（コピー）の提供を実施しています。

なお、資料の閲覧など館内の滞在は引き続き制限されています。

(福利厚生施設の利用)

6 受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

(損害賠償)

7 受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

(保険制度)

8 授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

(通学方法)

9 キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

IV 非対面型授業（遠隔授業）の受講について

非対面型授業（遠隔授業）の受講準備

■ 端末の準備

Zoomでの動画閲覧、Moodleでの資料(PDF、パワーポイント等)閲覧が可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等を準備してください。

※カメラ、マイク等は必須ではありません。

■ 通信環境の準備

インターネット回線(光インターネット等)や無線LAN(Wi-Fi)でインターネットに接続できる環境を準備してください。

非対面型授業（遠隔授業）の受講における注意事項

教員から配信された授業の資料(「Zoom」の動画や教材等)に関する著作権は、当該教員に帰属します。以下の1、3にある行為を行った場合は著作権侵害にあたり、著作権法に反することとなります。

- 1) 授業を録画や録音したりスクリーンキャプチャしたもの、ダウンロードしたりしたものを担当教員の許可なく第三者に提供すること、第三者が閲覧可能な形でウェブサイト上等で公開すること。
- 2) 授業に参加するためのURL、授業に関連するIDやパスワードを、担当教員の許可なく第三者と共有すること。
- 3) 授業で提供された資料等を、担当教員の許可なく第三者に配布すること。
- 4) 担当教員や出席者に対し、SNSなどで誹謗中傷すること。
- 5) その他、授業の正常な進行を故意に妨げること。

Ⅳ そ の 他

1 「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

- 教養教育
学務課 教養教育支援室 TEL 076-445-6031
- 人文学部
人社系学務課人文学部担当 TEL 076-445-6138
- 人間発達科学部、人間発達科学研究科
人社系学務課人間発達科学部担当 TEL 076-445-6258
- 経済学部、経済学研究科
人社系学務課経済学部担当 TEL 076-445-6500
- 理学部、理工学教育部（理学領域）
理工系学務課理学部担当 TEL 076-445-6547
- 工学部、理工学教育部（工学領域）
理工系学務課工学部担当 TEL 076-445-6701
- 都市デザイン学部
理工系学務課都市デザイン学部担当 TEL 076-445-6698
- 国際機構
国際部留学支援課 TEL 076-445-6404

2 授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、予めご了承ください。授業開始前には、毎回各学部等の掲示板をご覧ください。

3 受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

4 【新型コロナウイルス対策】

受講においては、基本的な感染対策（マスクの着用、手指消毒、3密回避等）の徹底にご協力をお願いします。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	国家と市民	八百章嘉	月・1	未定	若干名	A	パソコン (Moodle) 使用
2	現代社会論	藤本武	月・3	未定	何名でも可	A	パソコン (Moodle) 使用
3	基礎物理学－A	喜久田寿郎	月・4	未定	5名まで	A	
4	基礎物理学－A	保田俊行	月・4	未定	5名まで	A	
5	基礎物理学－B	源明誠	月・4	未定	5名まで	A	
6	哲学のすすめ	永井龍男	月・5	未定	5名まで	A	
7	美術	鼓みどり	火・2	未定	5名まで	A	
8	基礎生物学－B	磯部正治	火・3	未定	5名まで	A	
9	基礎生物学－A	迫野昌文	火・3	未定	5名まで	A	
10	日本語コミュニケーションⅠ	田中信之	火・4	未定	若干名	A	外国人留学生科目のため、日本語を母語としない方を対象といたします。 パソコン (Moodle) 使用
11	人間と倫理	田畑真美	火・5	未定	3名まで	A	パソコン (Moodle) 使用
12	線形代数Ⅰ－B	本田和博	火・5	未定	5名まで	A	
13	社会と情報の数理	白石俊輔	火・6	未定	3名まで	A	パソコン (Moodle) 使用
14	微分積分Ⅰ－A	川原茂敬 伊野部智由	木・3	Ⅰ 34	5名まで	A	
15	線形代数Ⅰ－A	石山達也	木・3	Ⅰ 36	5名まで	A	
16	微分積分Ⅰ－A	菅野憲	木・4	Ⅰ 36	5名まで	A	パソコン (Moodle) 使用
17	線形代数Ⅰ－E	猪井博登	木・5	未定	3名まで	A	パソコン (Moodle) 使用
18	微分積分Ⅰ－A	金竹主賢 崎太智	金・1	Ⅰ 36	5名まで	A	
19	基礎化学－E	佐山三千雄	金・1	Ⅰ 33	5名まで	A	
20	線形代数Ⅰ－C	西村克彦	金・2	未定	5名まで	A	パソコン (Moodle) 使用
21	微分積分Ⅰ－C	並木孝洋	金・3	未定	5名まで	A	パソコン (Moodle) 使用
22	微分積分Ⅰ－B	増田健一	金・4	Ⅰ 28	5名まで	A	
23	ロシア語基礎Ⅰ	武田昭文	月・3	未定	5名まで	A	ロシア語初修者を対象とする。 パソコン (Moodle) 使用
24	ロシア語コミュニケーションⅠ	カザケーヴィチ	火・3	未定	5名まで	A	ロシア語初修者を対象とする。 パソコン (Moodle) 使用
25	ロシア語コミュニケーションⅠ	カザケーヴィチ	火・4	未定	5名まで	A	ロシア語初修者を対象とする。 パソコン (Moodle) 使用

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し受講希望調書受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をしていただく必要があります。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	西洋史特殊講義 B	南 祐 三	火・4	6	5	B	パソコン (Moodle) 使用
2	人間学演習 I e	田 畑 真 美	木・4	3	3	C	パソコン (Moodle) 使用
3	東洋思想史	田 畑 真 美	月・4	4	3	B	パソコン (Moodle) 使用
4	倫理思想	澤 田 哲 生 田 畑 真 美	火・3	6	3	B	パソコン (Moodle) 使用
5	日本史概説 I	鈴 木 景 二	水・2	4	5	B	
6	人間学特殊講義	澤 田 哲 生	水・2	6	5	B	
7	心理学概論 II	黒 川 光 流 坪 見 博 裕 喜 田 裕 子	金・2	4	5	A	
8	日本語学特殊講義 (a)	小助川 貞 次	月・2	4	若干名	C	
9	日本語学講読 I (e)	小助川 貞 次	火・2	4	若干名	C	
10	中国言語文化講読 (c)	大 野 圭 介	火・3	417	3	B	現代中国語を1年以上学習済みであることを前提として授業を行う。
11	中国言語文化演習 (e)	大 野 圭 介	木・2	417	3	B	現代中国語を1年以上学習済みであることを前提として授業を行う。
12	国際文化特殊講義 (F)	小 野 直 子	火・4	1	若干名	B	
13	アメリカ言語文化講読 I b	大工原 ちなみ	火・1	2	3	B	パソコン (Moodle) 使用
14	アメリカ言語文化講読 II b	大工原 ちなみ	火・2	2	3	C	パソコン (Moodle) 使用
15	英語学演習 II b	奥 村 譲	火・3	大会議室	3名	C	パソコン (Moodle) 使用
16	英語学特殊講義 b	奥 村 譲	金・3	1	3名	B	パソコン (Moodle) 使用
17	ロシア言語文化演習 II (a)	武 田 昭 文	金・4	316	3	C	パソコン (Moodle) 使用
18	ロシア言語文化講読 I (b)	武 田 昭 文	月・4	316	3	B	パソコン (Moodle) 使用
19	ロシア文学史 (b)	武 田 昭 文	金・3	316	5	B	パソコン (Moodle) 使用
20	ロシア言語文化特殊講義 (a)	カザケーヴィチ・マルガリータ	水・4	316	5	C	パソコン (Moodle) 使用
21	ロシア文化論 (a)	カザケーヴィチ・マルガリータ	木・4	316	5	C	パソコン (Moodle) 使用
22	実践ロシア語演習 I (a)	カザケーヴィチ・マルガリータ	木・3	316	3	B	パソコン (Moodle) 使用
23	実践ロシア語演習 II (a)	カザケーヴィチ・マルガリータ	水・2	316	3	C	パソコン (Moodle) 使用
24	実践ロシア語演習 III	カザケーヴィチ・マルガリータ	木・2	316	3	C	パソコン (Moodle) 使用
25	ロシア語学概論 (a)	カザケーヴィチ・マルガリータ	水・3	316	3	B	パソコン (Moodle) 使用
26	中国言語文化講読 (b)	森 賀 一 恵	月・2	417	5	B	パソコン (Moodle) 使用
27	中国言語文化演習 (d)	森 賀 一 恵	火・2	417	5	C	パソコン (Moodle) 使用

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
28	東アジア言語文化特殊講義 (b)	森 賀 一 恵	水・1	6	5	B	パソコン (Moodle) 使用
29	ドイツ語コミュニケーション (会話) I (a)	ヴォルフガング ツォウバク	火・1	416	2	B	
30	ドイツ語コミュニケーション (会話) II (a)	ヴォルフガング ツォウバク	火・2	416	2	C	
31	ドイツ語コミュニケーション (会話) I (b)	ヴォルフガング ツォウバク	金・2	416	2	B	
32	ドイツ語コミュニケーション (会話) II (b)	ヴォルフガング ツォウバク	金・3	416	2	C	
33	ドイツ語コミュニケーション (作文) I (a)	ヴォルフガング ツォウバク	水・3	416	2	B	
34	ドイツ語コミュニケーション (作文) II (a)	ヴォルフガング ツォウバク	水・2	416	2	C	
35	ドイツ文学史 (b)	宮 内 伸 子	水・1	4	3	B	パソコン (Moodle) 使用
36	西洋思想史Ⅲ	池 田 真 治	金・3	4	若干名	B	パソコン (Moodle) 使用
37	日本語文法研究法	樋 野 幸 男	木・4	2	3	B	パソコン (Moodle) 使用
38	西洋思想史Ⅱ a	永 井 龍 男	月・3	2	5	B	
39	西洋古典語 (1)	永 井 龍 男	木・5	1	3	B	
40	哲学演習 I a	永 井 龍 男	金・4	1	3	C	
41	人文地理学特殊講義 (b)	大 西 宏 治	金・5	6	5	B	パソコン (Moodle) 使用
42	考古学概論	高 橋 浩 二	火・1	6	2	B	

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し「受講希望調書」提出時に「総合情報基盤センター 情報システム利用申請」をしていただく必要があります。

※備考欄に「パソコン Moodle 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	知覚心理学	佐藤 徳	火・3	人間 117	3	C	
2	児童心理学	姜 信 善	火・5	人間 117	3	B	
3	臨床心理学	石津 憲一郎	火・2	人間実践センター	3	B	
4	社会心理学	佐藤 徳	木・4	人間 117	3	B	
5	教職と教育	林 誠 一	木・4	人間 341	5	A	
6	保育内容（人間関係）	小林 真	火・4	人間 112	3	B	
7	社会福祉概論Ⅱ	志賀 文 哉	木・1	人間 117	5	B	パソコン（Moodle）使用
8	心理学	小林 真	火・3	人間 111	5	A	
9	公的扶助論	志賀 文 哉	火・4	人間 113	5	B	パソコン（Moodle）使用
10	臨床発達心理学	小林 真	火・5	人間 111	5	B	
11	知的障害児の心理Ⅰ	宮 一 志	木・4	人間 114	10	B	
12	肢体不自由児の心理・生理・病理	宮 一 志	月・4	人間 114	10	B	
13	社会的養護Ⅰ	西館 有 沙	火・4	人間 117	5	B	
14	保育の心理学	小林 真	月・3	人間 113	5	B	
15	平和学	池田 丈 佑	金・4	共通 C11	5	B	パソコン（Moodle）使用
16	ネットワークリテラシー	黒田 卓	木・5	人間 341	3	A	
17	環境科学入門	片岡 弘 衛	木・3	人間 112	5	A	パソコン（Moodle）使用
18	スポーツ文化論	大川 信 行	月・2	人間 331	3	B	
19	バイオメカニクス	堀田 朋 基	木・4	人間 331	3	B	
20	スポーツマネジメント	神野 賢 治	月・4	人間 311	3	B	
21	メンタルマネジメント	福島 洋 樹	月・2	人間 311	3	B	
22	環境とエネルギー	成行 泰 裕	木・2	人間 114	3	C	
23	物性化学概論	片岡 弘	火・3	人間 114	5	B	パソコン（Moodle）使用
24	生活環境化学	片岡 弘	火・4	人間 114	5	B	パソコン（Moodle）使用
25	科学技術社会論	林 衛	火・5	人間端末室	5	A	パソコン（Moodle）使用（端末室の使用）
26	地球表層変動学	河村 愛	月・4	人間 141	5	A	
27	住環境論	秋月 有 紀	木・2	人間 211	3	B	
28	栄養学	藤本 孝 子	木・1	人間 112	3	B	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
29	国際政治学	池田 文 佑	木 2	人間 113	3	B	パソコン (Moodle) 使用
30	世界環境地理学	山 根 拓	月 3	人間 141	5	B	
31	人間社会の地理学	山 根 拓	木 5	人間 111	5	B	
32	日本社会史概論	中 村 只 吾	木 3	人間 141	5	B	パソコン (Moodle) 使用
33	環境歴史学	徳 橋 曜	金 2	人間 113	3	B	
34	世界システム概論	徳 橋 曜	金 1	人間 113	3	B	
35	ヨーロッパ地域史論	徳 橋 曜	金 3	人間 112	3	B	
36	哲学	児 島 博 紀	火 2	人間 141	3	B	
37	情報代数学	石 川 秀 明	月 1	人間 332	3	B	
38	メディア史	鼓 みどり	木 2	基盤セ 2F	3	A	パソコン (Moodle) 使用 (端末室の使用)

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、受講希望調書受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	マクロ経済学Ⅰ－A、－B	若林 丈 靖	月・1 水・2	未定	3	B	13,500円
2	経営数学－A、－B	古賀 さゆり	月・2 木・2	未定	5	B	パソコン (Moodle) 使用 13,500円
3	社会学総論－A、－B	高山 龍太郎 高中 真由美	月・3 木・1	未定	3	A	パソコン (Moodle) 使用 13,500円
4	比較経営論－A、－B	森岡 裕	月・3 木・1	未定	3	B	13,500円
5	ロシア経済論－A、－B	堀江 典生	月・4 水・1	未定	10	B	パソコン (Moodle) 使用 13,500円
6	ゲーム分析－A、－B	白石 俊輔	月・4 水・1	未定	3	B	13,500円
7	行政法－A、－B	神山 智美	月・4 水・1	未定	5	C	13,500円
8	農業政策－A、－B	酒井 富夫	月・6、7	未定	5	B	13,500円
9	経営システム－A、－B	山崎 竜弥	月・6、7	未定	3	B	パソコン (Moodle) 使用 13,500円
10	会社法－A、－B	増田 友樹	火・1 金・3	未定	10	B	13,500円
11	日本産業論－A、－B	松井 隆幸	火・3 金・1	未定	5	B	パソコン (Moodle) 使用 13,500円
12	経済情報処理	小柳津 英知	火・4	未定	3	B	
13	管理会計論－A、－B	森口 毅彦	火・4 金・4	未定	5	B	パソコン (Moodle) 使用 13,500円
14	国際私法	岩本 学	火・4	未定	3	C	
15	質的調査法	高山 龍太郎	火・6	未定	3	B	(端末室の授業) パソコン (Moodle) 使用
16	開発経済学－A、－B	金 奉吉	水・6、7	未定	5	B	13,500円
17	現代経済入門	小寺 剛	木・3	未定	3	A	
18	国際取引法－A、－B	小池 未来	木・3、4	未定	若干名	B	13,500円
19	基礎数学b	白石 俊輔	木・4	未定	3	A	
20	貿易論－A、－B	岸本 壽生	木・6、7	未定	5	B	パソコン (Moodle) 使用 13,500円
21	入門法学Ⅰa	森嶋 秀紀	金・4	未定	5	A	
22	政治経済学－A、－B	大松 洋淳 坂山	金・6、7	未定	3	B	13,500円
23	経営学入門	森岡 裕	金・7	未定	3	A	

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、受講希望調書受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：理学部

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	解析学A	上田肇一	金・3	共通棟(未定)	若干名	C	(注1)
2	線形代数学A	川部達哉	木・4	理A424	若干名	C	(注1)
3	解析学I	菊池万里	火・2 金・4	共通棟(未定)	若干名	C	(注1) 前半(～6/8)
4	解析学II	菊池万里	火・2 金・4	共通棟(未定)	若干名	C	(注1) 後半(6/11～)
5	線形代数学I	永井節夫	火・1 木・2	理A424	若干名	C	(注1) 前半(～6/10) パソコン(Moodle)使用
6	線形代数学II	永井節夫	火・1 木・2	理A424	若干名	C	(注1) 後半(6/15～)開講 パソコン(Moodle)使用
7	位相空間論I	出口英生	木・5	共通棟(未定)	若干名	C	(注1) パソコン(Moodle)使用
8	プログラミングI	木村巖	水・5	基盤センター4F	若干名	C	(注1) (週末日の授業) パソコン(Moodle)使用
9	代数学II	山根宏之	火・4	理A424	若干名	C	(注1) パソコン(Moodle)使用
10	幾何学I	古田高士	木・4	共通棟(未定)	若干名	C	(注1)
11	複素解析学II	藤田景子	金・5	理A424	若干名	C	(注1)
12	実解析学II	出口英生	木・3	共通棟(未定)	若干名	C	(注1) パソコン(Moodle)使用
13	解析学特論B	藤田景子	金・3	理A424	若干名	C	(注1)
14	応用数理解論B	上田肇一	木・2	共通棟(未定)	若干名	C	(注1)
15	物理学概論I	池本弘之	木・2	理多目的	5	A	パソコン(Moodle)使用
16	物理数学序論	畑田圭介	金・5	共通棟(未定)	5	A	
17	電磁気学序論	榎本勝成	月・2	理A424	若干名	B	
18	物理数学B	栗本猛	木・3	理A424	若干名	C	物理数学序論、物理数学Aの内容を習得していること パソコン(Moodle)使用
19	力学A	桑井智彦	水・1 金・3	共通棟(未定)	2	B	前半(～6/9)
20	力学B	桑井智彦	水・1 金・3	共通棟(未定)	2	B	後半(6/11～) 力学Aの内容を習得していること
21	量子力学A	栗本猛	月・3 水・2	理A424	若干名	C	前半(～6/9) パソコン(Moodle)使用
22	量子力学B	栗本猛	月・3 水・2	理A424	若干名	C	後半(6/14～) 量子力学Aの内容を習得していること パソコン(Moodle)使用
23	物性物理学A	池本弘之	木・4	理多目的	若干名	C	パソコン(Moodle)使用
24	光学	森脇喜紀	金・2	理多目的	5	B	
25	核・素粒子物理学	栗本廣 島崎 猛 渚 充	火・2	理C204	若干名	C	量子力学A・B及び相対性理論を習得していること パソコン(Moodle)使用
26	化学概論I	鈴木炎	金・2	共通棟(未定)	若干名	A	
27	基礎物理化学	柘植清志	木・1	理A424	5	A	
28	有機化学I	宮澤眞宏	金・5	共通棟(未定)	5	A	パソコン(Moodle)使用
29	化学反応学	岩村宗高	月・1	理多目的	5名程度	B	

学部等名：理学部

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
30	化学熱力学Ⅱ	鈴木 炎	月・2	理多目的	5	B	
31	量子化学Ⅰ	野崎 浩一	水・1	共通棟（未定）	5	B	
32	有機化学Ⅲ	林 直人	水・2	共通棟（未定）	5	B	
33	有機化学Ⅳ	井川 善也	木・2	共通棟（未定）	5	B	パソコン（Moodle）使用
34	無機化学Ⅰ	柘植 清志	金・2	理A 424	5名程度	A	
35	無機化学Ⅱ	大津 英揮	火・2	理多目的	若干名	B	
36	化学平衡学	原 正憲	火・1	理C 205	若干名	B	
37	分子物性学	野崎 浩一	木・2	理C 105	5	B	
38	電気化学	阿部 孝之	水・2	理C 105	若干名	B	
39	生物化学Ⅱ	井川 善也	金・1	理A 238	5	B	パソコン（Moodle）使用
40	高分子化学	吉野 惇郎	金・2	理C 105	5	B	後半（6/11～） 7,300円
41	基礎植物形態学	唐原 一郎	月・2	共通棟（未定）	5	A	
42	動物生理学	中町 智哉	月・4	理A 239	5	B	
43	基礎系統学	前川 清人	水・2	理A 239	5	A	
44	分子生物学	若杉 達也	水・2	理A 238	5	C	
45	環境基礎生物学B	田中大祐	月・2	理A 239	若干名	B	
46	環境化学	堀川 恵司	水・2	理A 337	若干名	B	
47	環境物理学	青木 一真 島田 互	水・1	理A 337	若干名	B	
48	環境微生物学	田中 大祐 酒 徳 昭宏	木・3	理A 337	若干名	C	
49	環境植物生理学	蒲池 浩之	火・2	理A 238	若干名	B	
50	海洋科学	張 勁	木・1	理A 337	若干名	B	
51	地球化学	堀川 恵司 張 勁	金・1	理A 336	若干名	B	
52	大気物理学	青木 一真	木・2	理A 337	若干名	B	
53	環境化学計測	倉光 英樹	火・1	理多目的	若干名	B	
54	雪氷物理学	島田 互	金・2	理A 336	若干名	B	

（注1）当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を取得しているのと同程度の学力を有することが必要です。
受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、「受講希望調書」受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工学部

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	電子物性工学 I	森 雅 之	月・1	工 28	若干名	B	
2	電気エネルギー工学 1	田 中 和 幸	月・2	工 28	5	B	
3	電気数学 2	未定	月・3	工 27	5	B	教員が決定してから再確認
4	半導体デバイス 2	岡 田 裕 之	月・3	工 28	5	C	
5	基礎物理学 (A)	喜久田 寿 郎	月・4	未定	5	A	
6	半導体デバイス演習	岡 田 裕 之	月・4	工 28	5	B	
7	アナログ電子回路 1	中 島 一 樹	火・1	工 27	3	B	
8	電磁波工学	藤 井 雅 文	火・1	工 28	5	B	
9	電気電子設計	大 路 貴 久	火・2	工 21	3	B	
10	電気回路演習 2	荻 戸 立 夫 田 原 立 稔	火・3	工 27	5	B	
11	線形代数 I (B)	本 田 和 博	火・5	未定	5	A	
12	計算機工学	鈴 木 正 康	水・2	工 34	5	B	
13	電気機器工学 2	大 路 貴 久	水・2	工 35	5	B	
14	微分積分 I (A)	金 竹 主 賢 崎 太 智	金・1	工 36	5	A	
15	電磁気学 2	大 橋 隼 人	金・1	工 27	5	B	
16	高電圧プラズマ工学	伊 藤 弘 昭	金・1	工 28	5	B	
17	微分積分 II	竹 崎 太 智 金 主 賢	金・2	工 36	5	A	
18	電磁気学演習 2	伊 藤 弘 昭	金・2	工 27	5	B	
19	センサ工学	鈴 木 正 康	金・2	工 28	5	B	
20	離散数学	菊 島 浩 二	火・4	工 26	5	A	
21	計算機アーキテクチャ	唐 政	水・2	工 27	5	B	
22	回路理論	田 端 俊 英	木・3	工 27	5	B	
23	生体情報処理	高 松 衛	木・3	工 28	5	B	
24	データサイエンス I	村 山 立 人	木・5	未定	5	A	
25	デジタル信号処理	廣 林 茂 樹	金・2	工 25	10	B	
26	人工知能	参 沢 匡 将	金・4	工 27	5	B	
27	数値解析	片 桐 崇 史	金・4	工 34	5	B	
28	工業数学 A	瀬 田 剛	月・1	工 26	5	B	
29	計測工学	寺 林 賢 司	月・2	工 34	5	B	
30	基礎物理学 (A)	保 田 俊 行	月・4	未定	5	A	

学部等名：工学部

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
31	センサ工学	笹木 亮	火・1	Ⅰ 25	若干名	B	
32	強度設計工学	小熊 規 泰	火・2	Ⅰ 34	5	B	
33	応用熱力学	手崎 衆	火・3	Ⅰ 25	5	B	
34	要素設計学第1	小熊 規 泰	火・4	Ⅰ 25	5	B	
35	機械材料工学	溝部 浩志郎	木・1	Ⅰ 35	5	B	
36	生産加工学	船塚 達也	木・2	Ⅰ 25	5	A	
37	塑性工学	白鳥 智美	木・2	Ⅰ 34	5	B	
38	プログラミング基礎／機械 A	ゾロツキヒナ	木・3	未定	5	B	(端末室の授業)
39	プログラミング基礎／機械 B	ゾロツキヒナ	金・2	未定	5	B	(端末室の授業)
40	機械力学	未定	木・4	Ⅰ 35	5	B	教員が決定してから再確認
41	伝熱工学	笠場 孝一	金・2	Ⅰ 26	5	C	
42	メカトロニクス	神代 充	金・3	Ⅰ 26	5	B	
43	微分積分Ⅰ (B)	増田 健一	金・4	Ⅰ 28	5	A	
44	機構学	未定	金・4	Ⅰ 26	5	B	
45	応用数学	黒岡 武俊	月・2	Ⅰ 22	5	B	
46	生命物理化学Ⅱ	伊野部 智由	火・1	Ⅰ 22	5	A	
47	薬理学Ⅱ	高崎 一朗	火・1	Ⅰ 31	5	C	
48	生化学Ⅱ	佐山 三千雄	火・2	Ⅰ 35	5～10	B	
49	細胞工学	篠原 寛明	火・2	Ⅰ 31	5	B	
50	基礎生物学 (B)	磯部 正治	火・3	未定	5	A	
51	基礎電磁気学	川原 茂敬	水・1	Ⅰ 25	5	A	
52	細胞代謝学Ⅱ	佐山 三千雄	水・1	Ⅰ 21	5～10	B	
53	遺伝子工学	高崎 一朗	水・2	Ⅰ 25	5	B	
54	有機化学Ⅱ	豊岡 尚樹哉 岡田 卓哉	木・2	Ⅰ 22	5	B	
55	生体医工学Ⅰ	中村 真人	木・2	Ⅰ 33	10	B	
56	微分積分Ⅰ (A)	川原 茂敬 伊野部 智由	木・3	Ⅰ 34	5	A	
57	基礎化学 (E)	佐山 三千雄	金・1	Ⅰ 33	5	A	
58	無機化学Ⅱ	篠原 寛明	金・1	Ⅰ 31	若干名	B	
59	生体計測工学	川原 茂敬	金・1	Ⅰ 21	5	B	

学部等名：工学部

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
60	プログラミング基礎／応用化学	伊藤 研 策	月・3	未定	5	B	(端末室の授業)
61	基礎物理学 (B)	源 明 誠	月・4	未定	5	A	
62	無機化学演習	宮 崎 章	火・1	工 23	5	B	パソコン (Moodle) 使用
63	生化学 I	中 路 正	火・2	工 33	5	A	パソコン (Moodle) 使用
64	分子構造解析	遠 田 浩 司	火・2	工 23	5	B	
65	基礎生物学 (A)	迫 野 昌 文	火・3	未定	5	A	
66	無機分子工学	會 澤 宣 一	火・5	工 25	5	B	
67	物理化学 II	伊 藤 研 策	水・2	工 23	10	B	
68	環境保全化学	加賀谷 重 浩	水・2	工 32	5	B	
69	有機化学 I	阿 部 仁	木・1	工 36	5	A	
70	無機化学	會 澤 宣 一	木・2	工 36	10	A	
71	高分子化学 I	中 路 正	木・2	工 23	5	B	パソコン (Moodle) 使用
72	線形代数 I (A)	石 山 達 也	木・3	工 36	5	A	
73	応用数学	宮 崎 章	木・3	工 35	5	B	パソコン (Moodle) 使用
74	微分積分 I (A)	菅 野 憲	木・4	工 36	5	A	パソコン (Moodle) 使用
75	有機化学 III	阿 部 仁	金・1	工 23	5	B	
76	生化学 III	中 路 正	金・1	工 32	5	B	パソコン (Moodle) 使用
77	分析化学 II	遠 田 浩 司	金・2	工 23	5	B	
78	エネルギー化学	椿 範 立	金・2	工 32	10	C	
79	プログラミング基礎／応用化学	伊 藤 研 策	金・3	未定	5	B	(端末室の授業)

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、「受講希望調書」受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：都市デザイン学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	地球科学概論	渡邊了 小杉室光 杉浦幸之助	金・1	共通	若干名	A	
2	データサイエンスⅡ/ 多変量解析	濱田篤	月・2 月・3	理 A336 理 端末室	若干名	B	(端末室の授業) パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/7)
3	地殻物理学	勝間田明男	火・5 金・5	理 A336	若干名	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/4)
4	気象学	安永数明	火・4~5	理 A336	若干名	C	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/15 ~)
5	物質科学	渡邊了	金・4~5	理 多目的	5名	B	後半 (6/11 ~)
6	環境磁気学	川崎一雄	月・3 金・1	理 A336 理 A337	若干名	C	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/4)
7	地球流体力学	安永数明	木・1~2	理 C203	若干名	C	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/10)
8	地史学	大藤晋一 佐野晋一	月・3 木・2	理 A336	若干名	C	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/14 ~)
9	災害地質学	立石良	火・4 木・3	理 A239	若干名	C	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/15 ~)
10	力学	河野哲也	木・2	工 27	5	A	パソコン (Moodle) 使用
11	都市と交通を支える建設技術の 基礎知識	中川大他	金・3	工 23	10	A	パソコン (Moodle) 使用
12	データサイエンスⅡ/多変量解析	堀田裕弘	火・1~2	CADコン ピュータ室	5	B	(端末室の授業) パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/8)
13	都市・地域創生学	高柳百合子他	金・1~2	工 34	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/4)
14	構造力学基礎	鈴木康夫	月・1~2	工 21	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/7)
15	地盤工学基礎	原隆史	火・4~5	工 36	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/8)
16	水理・水工学基礎	木村一郎	木・1~2	工 11	5	B	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/17 ~)
17	都市デザイン史	久保田善明他	月・1~2	工 31	5	C	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/7)
18	インフラ設計学	原隆史他	木・4~5	工 21	5	C	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/10)
19	防災と情報	井ノ口宗成	月・1~2	工 31	5	C	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/14 ~)
20	コンクリート構造	河野哲也	水・4~5	工 23	5	C	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/9)
21	アセットマネジメント	本田豊	木・4~5	工 32	5	C	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/17 ~)
22	都市と建築の環境学	堀祐治	木・1~2	工 32	5	C	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/17 ~)
23	設計製図Ⅱ	久保田善明他	水・1~2 4~5	CADコン ピュータ室	若干名	C	(端末室の授業) 後半 (6/16 ~) 13,500円
24	データサイエンスⅢ/ ビッグデータ解析基礎	春木孝之	月 4~5	CADコン ピュータ室	若干名	C	(端末室の授業) 前半 (~ 6/7)
25	無機化学	島山賢彦	木・3	工 25	5	B	パソコン (Moodle) 使用
26	データサイエンスⅡ/多変量解析	堀田裕弘	火・3~4	CADコン ピュータ室	5	B	(端末室の授業) 前半 (~ 6/8)
27	電磁気学	西村克彦	木・3~4	工 11	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/10)
28	計算材料学Ⅰ	布村紀男	木・2 金・1	端末室	5	B	(端末室の授業) 後半 (6/11 ~)

学部等名：都市デザイン学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
29	固体拡散	柴柳敏哉	火・2 金・3	工11	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/4)
30	材料力学	會田哲夫	火・1 金・2	工11	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/4)
31	材料工学序論Ⅰ	松田健二	月・2~3	工11	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/7)
32	材料工学序論Ⅱ	松田健二	火・1~2	工11	5	B	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/15 ~)
33	インフラ材料	柴柳敏哉 他	水・1~2	理多目的	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/9)
34	溶接冶金学	柴柳敏哉	月・2 木・3	工12 工22	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/7)
35	材料加工学Ⅱ	會田哲夫	月・3 木・4	工12 工22	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/7)
36	材料機能工学	佐伯 淳	火・2 水・1	工32 工11	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/8)
37	循環資源材料工学Ⅱ	畠山賢彦	水・2 金・2	工11 工33	5	C	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/4)
38	素形材工学Ⅰ	才川清二	木・5 金・3	工22 工33	5	B	パソコン (Moodle) 使用 前半 (~ 6/4)
39	材料強度学	李昇原	月・1~2	工12	5	B	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/14 ~)
40	移動現象論Ⅱ	山根岳志	月・3 火・3	工12 工32	5	B	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/14 ~)
41	非鉄材料学	小野英樹	木・3 金・2	工22 工33	5	B	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/11 ~)
42	社会人への心構え	松田健二	金・4	工35	5	B	パソコン (Moodle) 使用
43	金属電子論	並木孝洋	水・2 木・2	工11 工31	若干名	C	パソコン (Moodle) 使用 後半 (6/16 ~)
44	都市ブランドデザイン	武山良三	月・4~5	工35・36	若干名	C	パソコンを用いた書類・プレゼン資料作成およびグループワークに対応できること。 (端末室の授業) 後半 (6/14 ~)

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、「受講希望調書」受付時に「総合情報基盤センター 情報システム利用申請」をする必要があります。

※備考欄に「パソコン (Moodle) 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：国際機構

※日本語を母国語としない方を対象としています。

※未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	文法 A1	横堀慶子	月・1、2	未定	若干名	A	(注1) 13,500円
2	文法 A1	要門美規	火・1、2	未定	若干名	A	(注1) 13,500円
3	文法 A1	高畠智美	水・1、2	未定	若干名	A	(注1) 13,500円
4	文法 A1	横堀慶子	木・1、2	未定	若干名	A	(注1) 13,500円
5	文法 A1	田中信之	金・1、2	未定	若干名	A	(注1) 13,500円
6	漢字 A1	高畠智美	月・3	未定	若干名	A	
7	聴解・会話 A1	横堀慶子	木・3	未定	若干名	A	
8	生活日本語 A1	中田理子	金・3	未定	若干名	A	
9	文法・読解 B1a	高畠智美	月・1、2	未定	若干名	B	13,500円
10	聴解・会話 B1	横堀慶子	月・3	未定	若干名	B	
11	漢字 B1	濱田美和	火・2	未定	若干名	B	
12	文法 B1	要門美規	火・3	未定	若干名	B	
13	文法・表現 B1	中河和子	水・1、2	未定	若干名	B	13,500円
14	文法 B1	田中信之	水・3	未定	若干名	B	
15	文法・読解 B1b	要門美規	木・1、2	未定	若干名	B	13,500円
16	作文 B1	田中信之	金・3	未定	若干名	B	
17	漢字 C1	濱田美和	月・2	未定	若干名	C	
18	表現技術 C1	濱田美和	月・3	未定	若干名	C	
19	文法 C1a	濱田美和	火・1	未定	若干名	C	
20	読解 C1	田中信之	水・2	未定	若干名	C	
21	会話 C1	高畠智美	水・3	未定	若干名	C	
22	日本文化 C1	中河和子	水・4	未定	若干名	C	
23	文法 C1b	濱田美和	木・2	未定	若干名	C	
24	聴解 C1	要門美規	木・3	未定	若干名	C	

(注1) 文法 A1 は原則 (月) ~ (金) 毎日の受講が必要です。

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し受講希望調書受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をしていただく必要があります。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、諸連絡は、授業担当教員により指示します。

○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））

大学院名：大学院人間発達科学研究科

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	発達臨床心理学特論	近藤龍彰	月・2	研究室	若干名	C	4月12日	パソコン(Moodle)使用 受講生による発表がある
2	教育心理学研究法特論	近藤龍彰	木・2	研究室	若干名	C	4月15日	パソコン(Moodle)使用 受講生による発表がある 英語の文献を読むことがある

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、「受講希望調書」提出時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※備考欄に「パソコン(Moodle)使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

大学院名：大学院経済学研究科

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試験日	備考
1	ロシア経済特殊研究	堀江典生	水・2	未定	若干名	D	4/12-16の授業初回	
2	計量経済学特殊研究	唐渡広志	月・4	未定	若干名	D	4/12-16の授業初回	
3	環境法特殊研究	神山智美	火・3	未定	若干名	D	4/12-16の授業初回	
4	刑事訴訟法特殊研究	八百章嘉	月・3	未定	若干名	D	4/12-16の授業初回	
5	人的資源管理特殊研究	馬駿	金・4	未定	若干名	D	4/12-16の授業初回	
6	多国籍企業論特殊研究	岸本壽生	木・3	未定	若干名	D	4/12-16の授業初回	

※ 授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：大学院理工学教育部（理学領域）

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	解析学特論B	藤田景子	木・2	理B133	若干名	D	4/15	
2	数学コアD	菊池万里 木村万巖	金・2	理B133	若干名	D	4/16	
3	数学コアE	川部達哉 出山口英生 幸山直人	水・2	理B133	若干名	D	4/14	
4	数学コアF	山根宏之 古田高士	火・2	理B133	若干名	D	4/13	
5	低温物理学Ⅱ	桑井智彦	金・4	理C204	若干名	D	4/16	
6	分光学Ⅱ	小林かおり	火・2	理C206	若干名	D	4/13	
7	光物理学	森脇喜紀	水・2	理C206	若干名	D	4/14	
8	多体問題	畑田圭介	金・2	理C206	若干名	D	4/16	
9	重力波物理学Ⅱ	山元一広	水・1	理C206	若干名	D	4/14	
10	現代物理学特論	物理学専攻教員	水・5	理C104	若干名	D	4/14	
11	放射線化学特論	波多野雄治	金・2	理A425	若干名	D	4/16	
12	生体機能化学	井川善也	火・1	理A425	若干名	D	4/13	
13	同位体化学	原正憲	金・1	理C202	若干名	D	4/16	
14	生体分子工学特論	松村茂祥	水・2	理C202	若干名	D	4/14	
15	有機金属化学	宮澤眞宏	木・2	理C202	若干名	D	4/15	
16	時間生物学特論	池田真行 望月貴年	木・2	理C104	若干名	D	4/15	
17	生体制御学特論	唐原一郎	水・2	理C204	若干名	D	4/14	
18	情報伝達物質化学特論	松田恒平	月・2 金・2	理C204	若干名	D	4/12	前半（～6/7）
19	分子育種学特論	山本将之	月・2 金・2	理C204	若干名	D	6/11	後半（6/11～）
20	地震学特論	渡邊了	火・1	理C204	若干名	D	4/13	
21	環境化学特論	張勁ほか	月・3 月・4	理C202	若干名	D	4/12	前半（～6/7） 一部の講義は英語で行います。
22	環境化学計測論	倉光英樹	火・1	理C202	若干名	D	4/13	
23	環境水質特論	佐澤和人	金・1	理C206	若干名	D	4/16	
24	水圏化学特論	張勁	火・2	理C202	若干名	D	4/13	
25	環境生物学特論	蒲池浩之ほか	水・1	理C202	若干名	D	4/14	
26	環境微生物学特論	酒徳昭宏	金・2	理C205	若干名	D	4/16	
27	生態学特論	横畑泰志	金・3	理C206	若干名	D	4/16	

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

大学院名：大学院理工学教育部（工学領域）

*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試験日	備考
1	計測システム特論	鈴木正康	月・2	工23	若干名	D	講義初回	
2	電子デバイス工学特論第1	岡田裕之	火・2	工22	若干名	D	講義初回	
3	システム制御工学特論第1	平田研二	水・2	工22	若干名	D	講義初回	
4	生体システム特論第1	中島一樹	木・2	電気棟4327	若干名	D	講義初回	
5	基礎物性工学特論	喜久田寿郎	金・1	工22	若干名	D	講義初回	
6	電力工学特論第2	田中和幸	金・2	工22	若干名	D	講義初回	
7	システム工学特論第1	廣林茂樹	火・1	工26	若干名	D	講義初回	
8	量子情報処理特論	玉木潔	火・2	工24	若干名	D	講義初回	
9	視覚情報処理特論	高松衛	火・4	工24	若干名	D	講義初回	
10	人工知能特論第1	唐政	水・1	工33	若干名	D	講義初回	
11	人工知能特論第2	高尚策	木・3	工31	若干名	D	講義初回	
12	計算生体光学特論	片桐崇史	木・4	工23	若干名	D	講義初回	
13	環境数理解析特論	瀬田剛	月・3	未定	若干名	D	講義初回	(端末室の授業)
14	流体力学特論	加瀬篤志	火・1	工12	若干名	D	講義初回	
15	工業熱力学特論	手崎衆	火・2	工12	若干名	D	講義初回	
16	強度設計工学特論	笠場孝一	火・3	工12	若干名	D	講義初回	
17	塑性力学特論	溝部浩志郎	木・2	工21	若干名	D	講義初回	
18	弾性力学特論	木田勝之	木・3	工21、プロジェクト企画スペース	若干名	D	講義初回	
19	精密加工工学特論	高野登	金・2	工12	若干名	D	講義初回	
20	代謝工学特論	佐山三千雄	月・1	工22	若干名	D	講義初回	
21	医療生命工学特論	中村真人	木・1	工24	若干名	D	講義初回	
22	生体高分子材料化学特論	中路正	月・1	工23	若干名	D	講義初回	
23	電気分析化学特論	遠田浩司	月・2	工27	若干名	D	講義初回	
24	触媒材料化学特論	楊国輝	月・3	工24	若干名	D	講義初回	
25	生物工学特論	迫野昌文	水・1	工23	若干名	D	講義初回	
26	触媒と表面科学特論	椿範立	水・2	工28	若干名	D	講義初回	
27	コロイド・界面化学特論	伊藤研策	木・2	エイノベ2	若干名	D	講義初回	
28	錯体反応化学特論	會澤宣一	金・2	エイノベ2	若干名	D	講義初回	

大学院名：大学院理工学教育部（工学領域）

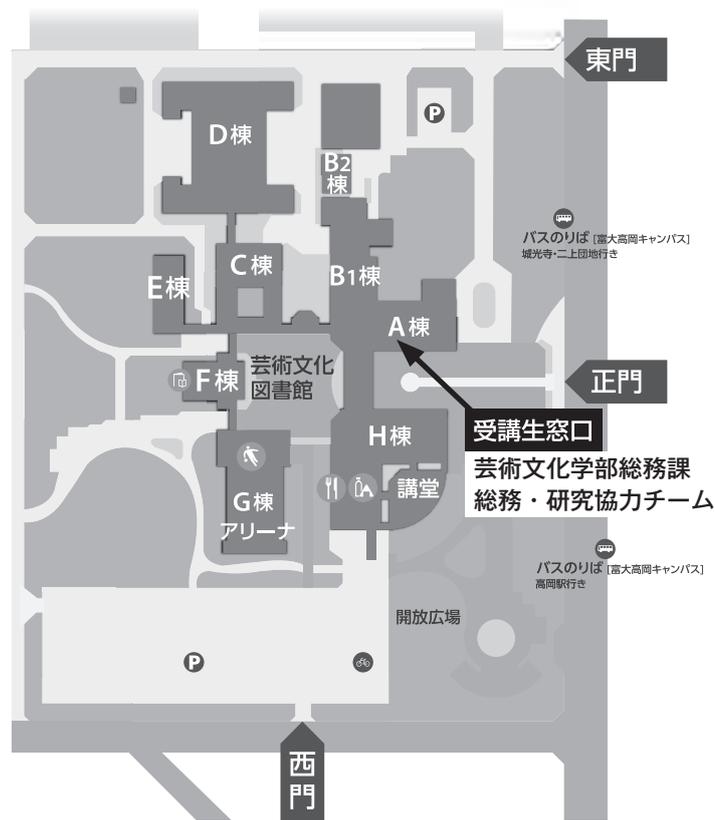
*未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より案内を差し上げます。
もし、試験日まで連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試験日	備考
29	組織制御工学特論	松田健二 李野昇原 池野進	水・1	工 22	若干名	D	講義初回	
30	物性制御工学特論	西村克彦 並木孝洋 森森克徳	木・1	工 12	若干名	D	講義初回	
31	材料プロセス工学特論	柴柳敏哉 吉田正道	木・2	工 12	若干名	D	講義初回	

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、「受講希望調書」受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



芸術文化学部

- A A棟
- B1 B1棟
- B2 B2棟
- C C棟
- D D棟
- E E棟
- F F棟 [芸術文化図書館]
- G G棟 [アリーナ]
- H H棟 レストラン・売店 (講堂)

<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学 芸術文化学部総務課 総務・研究協力チーム

〒933-8588 富山県高岡市二上町180

TEL 0766-25-9138 FAX 0766-25-9104

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

I 実施形態

(公開授業科目)

- 1 公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」(P35～P37参照)に記載のとおりです。
オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

- A 入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次生対象の授業)
- B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次生対象の授業)
- C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次生対象の授業)
- D 高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの(大学院生対象(ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC))^{*}の授業)

授業内容の紹介(シラバス)は、本学ホームページの「Webシラバス(授業案内)」(<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>)に掲載されておりますのでご覧ください(トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください)。高岡キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院(修士又は博士前期課程)の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス(HGOC)として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい(あるいは「学び直し」したい)とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部の教養教育や専門科目との違いはありません。

(募集定員)

- 2 募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。
「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。
また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン・クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

(開講期間)

- 3 **令和3年4月12日(月)～令和3年8月2日(月)**
(一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。
授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「令和3年度前学期授業日程」でご確認ください。

(試聴授業)

- 4 試聴期間中の初回の授業は試聴授業として扱います。

(修了証書)

- 5 オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、学期末の試験等は課しません。
全授業回数の2/3以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

(県民カレッジの単位認定)

- 6 オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の2/3以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（1時間を1単位とし、5単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

II 受講手続

(受講希望調書受付期間)

- 1 **令和3年3月1日（月）～ 令和3年3月12日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

(受講希望調書の提出)

- 2 本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記高岡キャンパス受講生窓口を持参、あるいはFAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。持参・FAX・Eメールともに、受付期間最終日必着とします。
ただし、Eメールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学 芸術文化学部総務課 総務・研究協力チーム

〒933-8588 富山県高岡市二上町180

TEL：0766-25-9138 FAX：0766-25-9104

Eメール shougai@adm.u-toyama.ac.jp

月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付しています。（祝日を除く）

- 3 「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようご注意ください。

(受講の試聴日)

- 4 受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴日以降に受講科目を追加・変更することはできません。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご確認ください。

(受講科目の登録)

- 5 受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、試験日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。

高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。

受講登録の際に必要な書類等は次のとおりです。

- ・受講届
- ・受講料
- ・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試験期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

(受講料の納付等)

- 6 受講登録時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

1 授業科目 9,400 円 (税込) (大学院 (HGOC) も受講料は同額です。)

(一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄をご参照ください。)

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

(受講証の交付)

- 7 受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用ください。

Ⅲ 受講に際して

(受講生の義務)

- 1 受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

(受講の停止)

- 2 受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

(休・補講、教室変更について)

- 3 これらの連絡は学務チーム掲示板（A棟1階 学務チーム入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）をご参照ください。

(受講生の呼び出し等)

- 4 授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

(図書館の利用)

- 5 附属図書館は2020年3月から新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応として、一般の方（オープン・クラス生を含む）の入館を制限していましたが、2020年8月から事前申し込みによる図書の貸出、文献複写物（コピー）の提供を実施しています。なお、資料の閲覧など館内の滞在は引き続き制限されています。

(福利厚生施設の利用)

- 6 受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

(損害賠償)

- 7 受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

(保険制度)

- 8 授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

(通学方法)

- 9 キャンパスには駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

IV 非対面型授業（遠隔授業）の受講について

非対面型授業（遠隔授業）の受講準備

■ 端末の準備

Zoomでの動画閲覧、Moodleでの資料(PDF、パワーポイント等)閲覧が可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等を準備してください。

※カメラ、マイク等は必須ではありません。

■ 通信環境の準備

インターネット回線(光インターネット等)や無線LAN(Wi-Fi)でインターネットに接続できる環境を準備してください。

非対面型授業（遠隔授業）の受講における注意事項

教員から配信された授業の資料(「Zoom」の動画や教材等)に関する著作権は、当該教員に帰属します。以下の1、3にある行為を行った場合は著作権侵害にあたり、著作権法に反することとなります。

- 1) 授業を録画や録音したりスクリーンキャプチャしたもの、ダウンロードしたりしたものを担当教員の許可なく第三者に提供すること、第三者が閲覧可能な形でウェブサイト上等で公開すること。
- 2) 授業に参加するためのURL、授業に関連するIDやパスワードを、担当教員の許可なく第三者と共有すること。
- 3) 授業で提供された資料等を、担当教員の許可なく第三者に配布すること。
- 4) 担当教員や出席者に対し、SNSなどで誹謗中傷すること。
- 5) その他、授業の正常な進行を故意に妨げること。

IV その他

- 1 「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。
○芸術文化学部総務課 総務・研究協力チーム TEL 0766-25-9138
- 2 授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので予めご了承ください。授業開始前には、毎回学務チーム掲示板をご覧ください。
- 3 受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。
- 4 **【新型コロナウイルス対策】**
受講においては、基本的な感染対策（マスクの着用、手指消毒、3密回避等）の徹底にご協力をお願いします。

オープン・クラス授業科目一覧

○専門科目

学部等名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業日・時	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	人と空間	上原雄史	木・5	【五福】E11	若干名	A	4月15日 4月22日	レポート提出はパソコン(Moodle)を使用
2	建築構造	大氏正嗣	月・4、5	B-117	3	B	4月12日	構造力学1を受講しているか、同等の知識を有すること 前半(～5/31)
3	構造力学1	大氏正嗣	金・1、2	B-213	3	B	6月4日	後半(6/4～)
4	構造計画	大氏正嗣	金・4、5	B-212	3	C	4月16日	模型製作材料等を準備 要：傷害保険加入 前半(～6/3)
5	人間工学概論	河原雅典	月・1、2	B-212	3	A	6月7日	後半(6/7～)
6	工芸実習(漆工)B	齊藤晴之	火・4、5 金・4、5	D-130	2	備考 ①参照	4月13日	①漆素材を使って自由な発想で造形作品を制作する授業なので受講生のスキルに合わせて、各個人ごとに入門的な内容から、より進んだ内容、高度な内容とそれぞれの対応が可能です。 ②実習のできる服装で漆を使って制作を行います。最善の注意を払って実習を行います。漆かぶれを起すことがあります。漆かぶれの程度は人によって個人差があります。 ③制作する作品の種類によって必要な材料費等が異なります。3000円～10000円程度から ④前半(～6/1)開講 28回・42時間 14,500円 ⑤遠隔授業の場合は、受講生を班に分け時期をずらして対応。一部説明でZoomを使用する可能性あり。
7	日本美術史	三宮千佳	金・1、2	講堂	若干名	A	4月16日	前半(～5/28)
8	博物館概論	三宮千佳 松田佳愛	月・3 木・3	B-212	若干名	A	4月12日 4月15日	前半(～6/3)
9	工芸実習(金工)C	清水克朗	火・1、2 金・1、2	D-133 D-135 D-142	1	B	6月4日	学生受講者数等を勘案して受入を判断する 作業服・材料費が別途必要 後半(6/4～)開講 32回・48時間 遠隔授業の場合は、受講生を班に分け時期をずらして対応 14,500円
10	身体文化論演習	田邊元	火・4、5	B-116	10名前後	A	4月13日	学生向けの内容 前半(～6/1)
11	コンピュータグラフィックス	辻合秀一	月・1、2	B-211	若干名	C	4月12日	学生受講者数等を勘案して受入を判断する 前半(～5/31)
12	素材と技術(金属・無機材料)	長柄毅一	金・4、5	B-213	5	A	4月16日	前半(～5/28)
13	暮らしとインテリア	萩野紀一郎	金・1、2	B-212	2～3	B	4月16日	住まいや建築やまちに強い関心のある人とする 学生受講者数等を勘案して受入を判断する 新型コロナウイルス感染状況次第では、オンライン授業に対応できる受講者とする 前半(～5/28)
14	特別演習(CADデザイン演習)	林内和 田和 美	月・3	C-223	若干名	C	4月12日 4月19日	(端末室の授業) CAD(rhinoceros)について操作の基本がわかっていること
15	西洋美術史	松田愛	木・1、2	講堂	若干名	A	6月10日	後半(6/10～)
16	アート・マネジメント演習	松田愛	金・4、5	B-116	若干名	B	6月4日	後半(6/4～)
17	材料の科学(塗料)	村田聡	月・4、5	B-210	若干名	B	4月12日	高校の化学の単位を履修した程度の予備知識を有しているものを対象 前半(～5/31)
18	地球環境と人間	村田聡	火・1、2	B-211	若干名	B	4月13日	高校の化学の単位を履修した程度の予備知識を有しているものを対象 前半(～6/1)

学部等名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業日・時	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
19	材料の科学 (プラスチック)	村田 聡	木・4、5	B-212	若干名	B	6月10日	高校の化学の単位を履修した程度の予備知識を有しているものを対象後半(6/10～)
20	まちづくり	藪谷 祐介	月・4、5	B-213	若干名	A	4月12日	学外での調査・ワークショップの可能性あり 学生受講者数等を勘案して受入を判断する 前半(～5/31)

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、「受講希望調書」受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※備考欄に「パソコン Moodle 使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））

学部名：大学院芸術文化科学研究科

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業日・時	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	漆工芸特別演習 C	齋藤晴之	木・3	D-130	1	D	4/15、4/22	漆素材を使って自由な発想で造形作品を制作する授業です。制作する作品の種類によって必要な材料費等が異なります。3,000円～10,000円程度から。遠隔授業の場合は、受講生を班に分け時期をずらして対応。一部説明でZoomを使用する可能性あり。
2	金属工芸特別演習 A	清水克朗	水・2	D-142	1	D	4/14、4/21	金属工芸に関する研究、または職業に携わっている方。学生受講者数等を勘案して受入を判断する。作業服・材料費が別途必要。要：傷害保険 遠隔授業の場合は、受講生を班に分け時期をずらして対応。
3	金属工芸特別演習 C	清水克朗	月・4	D-142	1	D	4/12、4/19	金属工芸特別演習 A を受講していること。金属工芸に関する研究、または職業に携わっている方。学生受講者数等を勘案して受入を判断する。作業服・材料費が別途必要。要：傷害保険 遠隔授業の場合は、受講生を班に分け時期をずらして対応。
4	現代美術特論	松田愛	月・2	C-341	若干名	D	4/12、4/19	

※新型コロナウイルス感染状況により、遠隔授業になる可能性を考慮し、「受講希望調書」受付時に「総合情報基盤センター情報システム利用申請」をする必要があります。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

令和3年度前学期 富山大学オープン・クラス（公開授業） 受講希望調書

住 所	〒		
フリガナ 氏 名		年 齢	性 別
電 話 (携帯電話)			
e-mail (必須)			
生涯学習メールマガジンの配信を希望 する ・ しない 該当する方に○を付けてください。			

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学 部 名 等			
授 業 科 目	番 号 ()		
担 当 教 員			
授 業 曜 日 ・ 時 限	曜 日	限	
授 業 で の パソコン使用	(該当する方に○を付けてください) 有 ・ 無 (有の場合) 端末室の授業・Moodle 使用	※非対面型授業（遠隔授業）に変更する可能性があるため、予め「総合情報基盤センター教育利用申請する必要があります。	

※ 本調書は、1 授業科目ごとに1枚とし、**3月1日（月）から3月12日（金）まで**に各キャンパス受講生窓口へ提出してください。FAX、Eメールも受け付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写してご使用ください。なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※ オープン・クラスの受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。

※ ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話・パソコンで授業の 掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や緊急情報を、携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のURLは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/



QRコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のQRコードからアクセスできます。

<留意事項>

*本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認ください。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

*掲示の内容は10分毎に最新の掲示情報に更新されます。

*台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

表紙作品



『飛游』

H600 x W650 x D700 mm / 漆・麻布・発砲スチロール・顔料

乾漆技法を用い、空を自由に泳ぐクジラをイメージして制作しました。
漆の表情から、生き物の柔らかさや温かさを感じてもらえたらと思います。

山田千晶 (やまだ ちあき)

1996 京都生まれ

2019 富山大学芸術文化学部 卒業

2019 美の祭典越中アートフェスタ2019

立体部門 優秀賞・富山県芸術文化協会賞/富山県民会館(富山)

SHIBUYA ART AWARDS 2019 入選/渋谷区庁舎(東京)

高岡市美術作家連盟創立70周年記念展/高岡市美術館(富山)

漆芸の未来を拓く―一生新の時2019―/石川県輪島漆芸美術館(石川)

2020 害蟲展～悪モノにされたいきものたち～

入賞/ego Art&Gallery Entertainment(東京)

高岡クラフト市場街企画「高岡で澄む」/西織ビル4F(富山)

生き物をモチーフに漆を用いて彫刻を制作しています。動物や人の手、命ある暖かいものに触れるととても心が安らぎます。感情には「熱い」「冷たい」と表現されることがあるように、作品の体温として感情の温度を感じてもらえればと思います。たとえそれが愛の熱でも、欲望の熱でも、誰かの心を温められるよう、隙間を少しでも埋められるようにと思い制作しています。



国立大学法人

富山大学

地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555 富山県富山市五福3190

Tel. 076-445-6956 Fax. 076-445-6033 E-mail: lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

URL: <http://www.life.u-toyama.ac.jp>

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。